

2025 年 1 月 15 日

幹事会委員各位

大腸がん死激減プロジェクト
代表 佐村 博範
(浦添総合病院下部消化管外科部長)

審議事項 2 市町村のがん検診担当者の研修修了率向上について

協議会として、各市町村のがん検診担当者が、国立がん研究センター主催の全国がん検診従事者研修（基礎）、全国がん検診従事者研修（実務）および全国がん検診指導者研修をすべて受講するように働きかける。具体的には、議長名で、全ての市町村長に対して、別紙の要望書を送付し、受講を促してはどうか、

また沖縄県保健医療介護部からも、各市町村の担当部課に働きかけることを提案する。具体的には、議長名で、沖縄県保健医療介護部長に対して、別紙の要望書を送付し、県からも受講を促していただくのはどうか。

<理由>

ベンチマーク部会による全市町村へのアンケート調査により、国立がん研究センター国立がん研究センター主催の全国がん検診従事者研修（基礎）、全国がん検診従事者研修（実務）および全国がん検診指導者研修編出席率が、別紙資料 7 - 2 のとおり、それぞれ 17.5%、6.3%、0%と極めて低い。およそ 2～3 年で、市町村のがん検診担当者が代わる現状を考慮すると、全員がこれらの研修を受ける必要があると考えられる。

<参考資料>

1 全国がん検診従事者研修（基礎）

主催：国立研究開発法人国立がん研究センター

研修のねらい：住民検診に携わるがん検診従事者において、がん検診の精度管理業務を行う上で必須となる基礎知識の習得を目指します。

受講対象：住民検診に携わるがん検診従事者（都道府県及び市区町村の行政担当者、保健所職員、検診機関の職員等）

プログラム：約 96 分 e-learning

申込期間：2024 年 4 月 15 日（月）～ 9 月 30 日（月）

受講期間：2024 年 4 月 15 日（月）～ 10 月 18 日（金）

2 全国がん検診従事者研修（実務）

主催：国立研究開発法人国立がん研究センター

研修のねらい：がん検診の基礎知識を踏まえ、精度管理を実践するうえで必要な知識や技術の習得を目指します。

受講対象：住民検診の運営・実務に関わる方すべて（都道府県/市区町村/検診機関の職員、都道府県が設置する生活習慣病検診等管理指導協議会の関係者、医師会関係者など）

プログラム：約 342 分 e-learning

申込期間：2024 年 6 月 24 日（月）～12 月 13 日（金）

受講期間：2024 年 6 月 24 日（月）～12 月 23 日（月）

3 全国がん検診指導者研修

主催：国立研究開発法人国立がん研究センター

研修のねらい：がん検診における地域の課題解決を適切に指導するための知識や、がん部会の適切な運営方法等（主に医師向けの内容）、指導者に必要な知識とスキルの習得を目指します

受講対象：都道府県が設置する生活習慣病検診等管理指導協議会（胃がん部会、大腸がん部会、肺がん部会、乳がん部会、子宮がん部会）の関係者（部会長、副部会長等）、及び医師会関係者。都道府県及び市区町村の行政担当者、保健所職員、検診機関職員も受講は可能です。

プログラム：約 69 分 e-learning

申込期間：2024 年 9 月 24 日（火）～2025 年 1 月 17 日（金）

受講期間：2024 年 9 月 24 日（火）～2025 年 1 月 31 日（金）

進捗評価のためのアンケート調査結果(市町村)

がん検診

番号	C 個別施策
----	--------

②がん検診の精度管理等について

2-1	行政担当者、保健所職員、検診機関の職員等は、国等が企画する研修会を受講する		指標項目	沖縄県
	指標	全国がん検診従事者研修(基礎)(実務)および全国がん検診指導者研修を修了した市町村の担当者等のそれぞれの割合	従事者研修(基礎)	17.5%
			従事者研修(実務)	6.3%
			指導者研修	.0%

進捗評価のためのアンケート調査

問6. 昨年度、がん検診事業を担当している方は何人いましたか？(兼任などで時々担当する方は除いてカウントしてください)

問7. あなたの市町村で、昨年度、検診を担当する方で、全国がん検診従事者研修(基礎)を終了した方はいらっしゃいますか？

問8. あなたの市町村で、昨年度、検診を担当する方で、全国がん検診従事者研修(実務)を終了した方はいらっしゃいますか？

問9. あなたの市町村で、昨年度、検診を担当する方で、全国がん検診指導者研修を終了した方はいらっしゃいますか？

	がん検診担当者数	従事者研修(基礎)修了者	従事者研修(実務)修了者	指導者研修修了者
那覇市	3			
宜野湾市	1			
石垣市	2			
浦添市	2	2	2	
名護市	1			
糸満市	1			
沖縄市	1	1		
豊見城市	1			
うるま市	1			
宮古島市	4			
南城市	1			
国頭村	0			
大宜味村	0			
東村	2			
今帰仁村	2			
本部町	1			
恩納村	1			
宜野座村	3			
金武町	2			
伊江村	2			
読谷村	3	1	1	
嘉手納町	2	2	1	
北谷町	1			
北中城村	1			
中城村	2			
西原町	1	2		
与那原町	1			
南風原町	1	1		
渡嘉敷村	1			
座間味村	2			
粟国村	2			
渡名喜村	2			
南大東村	1			
北大東村	3			
伊平屋村	1	1		
伊是名村	1			
久米島町	1			
八重瀬町	1			
多良間村	2			
竹富町	2			
与那国町	1	1		
合計	63	11	4	0

がん検診					
番号	C 個別施策				

科学的根拠に基づくがん検診の実施について						
		指標項目	沖縄県	全国値	最良値	出典
1-1	指標	指針に基づいたがん検診のみを行う				
		胃	95.1% (2022)	99.8% (2022)	北海道他 100.0% (2022)	国立がんセンター「市町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査」1. がん検診の実施状況（住民検診）
		大腸	100% (2022)	100% (2022)	47都道府県全て 100.0% (2022)	
		肺	100% (2022)	99.8% (2022)	北海道他 100.0% (2022)	
		女性乳房	100% (2022)	99.8% (2022)	北海道他 100.0% (2022)	
子宮頸部	100% (2022)	99.9% (2022)	北海道他 100.0% (2022)			

1-2	指標	指針に基づかないがん検診を中止する	指標項目	沖縄県	全国値	最良値	出典
			胃	集団3件/7.9% 個別1件/3.4% (2022)	集団478件/28.8% 個別293件/27.1% (2022)	集団0件/0.0%(滋賀県) 個別0件/0.0%(青森県他) (2022)	
			大腸	集団2件/5.0% 個別0件/0.0% (2022)	集団96件/6.0% 個別36件/3.7% (2022)	集団0件/0.0%(青森県他) 個別0件/0.0%(宮城県他) (2022)	
			肺	集団2件/5.0% 個別3件/11.1% (2022)	集団335件/20.2% 個別221件/30.2% (2022)	集団0件/0.0%(秋田県他) 個別0件/0.0%(宮城県他) (2022)	
			女性乳房	集団12件/33.3% 個別17件/53.1% (2022)	集団719件/44.4% 個別587件/40.7% (2022)	集団0件/0.0%(秋田県他) 個別0件/0.0%(新潟県他) (2022)	
			子宮頸部	集団7件/20.0% 個別5件/16.1% (2022)	集団387件/26.2% 個別333件/21.2% (2022)	集団0件/0.0%(大阪府他) 個別0件/0.0%(京都府他) (2022)	

②がん検診の精度管理等について						
		指標項目	沖縄県	全国値	最良値	出典
2-1	指標	全国がん検診従事者研修(基礎)(実務)および全国がん検診指導者研修を修了した市町村の担当者等のそれぞれの割合	従事者研修(基礎)	17.5% (2023)		令和6年度市町村向け進捗評価のためのアンケート調査結果
			従事者研修(実務)	6.3% (2023)		
			指導者研修	0% (2023)		

2-2	指標	県は受診率向上と精度管理のために研修会等を開催し、市町村等は担当者を受講させる	指標項目	沖縄県	全国値	最良値	出典
		研修を終了した市町村の担当者等の数		25人 (2023) ※がん検診事業担当 63人			

2-3	指標	県は、がん登録情報等を活用したがん検診の精度管理について、市町村へ技術的支援等を行う	指標項目	沖縄県	全国値	最良値	出典
		がん登録情報を活用した精度管理実施市町村数の割合		0% (2018～2023)			

2-4	指標	県は、精密検査受診率の低い市町村の実態把握を行い、それらに関する指導・助言等を行う	指標項目	沖縄県	全国値	最良値	出典
		県が指導・助言等を行った市町村数		41/41市町村			

2-5	指標	市町村は、指針に基づいたがん検診の実施及び精度管理の向上を行う	指標項目	沖縄県	全国値	最良値	出典
		国の示す「市町村事業におけるがん検診の事業評価の手法について」に基づいた、事業評価をしている市町村及び検診実施機関の割合					
			市町村	100% (2021)			
		検診実施機関	胃(エックス線)	93.2% (2022)			
			胃(内視鏡)	89.3% (2022)			
			大腸	89.4% (2022)			
			肺	89.1% (2022)			
			女性乳房	97.7% (2022)			
			子宮頸部	91.2% (2022)			
		要精検率の許容値を達成している市町村の割合	胃(XP+内視鏡)	86.5% 32/37市町村 (2022)			
			大腸	57.5% 23/40市町村 (2022)			
			肺	82.1% 32/39市町村 (2022)			
			女性乳房	92.5% 37/40市町村 (2022)			
		精検受診率の目標値90%以上を達成している市町村の割合	子宮頸部	39.0% 16/41市町村 (2022)			
			胃	27.3%(9/33)			
			大腸	2.4%(1/41)			
			肺	6.9%(2/29)			
			女性乳房	23.7%(9/38)			
		未把握率の目標値5%以下を達成している市町村の割合	子宮頸部	17.9%(7/39)			
			胃	30.3%(10/33)			
			大腸	14.6%(6/41)			
			肺	17.2%(5/29)			
		厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」(令和元年度～一次検診受診者の令和2年度までの精密検査受診状況)40<胃50/子宮頸20>～74歳	女性乳房	26.3%(10/38)			
			子宮頸部	33.3%(13/39)			
			胃	60% 21/35市町村 (2020)			

番号	B 中間アウトカム				
----	-----------	--	--	--	--

1-1	指標	科学的根拠に基づいた検診の実施ができている	指針の遵守市町村の割合	指標項目	沖縄県	全国値	最良値	出典
				胃	95.1% (2022)	99.8% (2022)	北海道他 100.0% (2022)	
				大腸	100% (2022)	100% (2022)	47都道府県全て 100.0% (2022)	
				肺	100% (2022)	99.8% (2022)	北海道他 100.0% (2022)	
				女性乳房	100% (2022)	99.8% (2022)	北海道他 100.0% (2022)	
				子宮頸部	100% (2022)	99.9% (2022)	北海道他 100.0% (2022)	

2-1	指標	検診の質の管理体制の構築と精度向上ができている	指標項目	沖縄県	全国値	最良値	出典
			胃(エックス線)	男 7.42% 女 5.60% (2020)	男 7.99% 女 5.06% (2020)	男 山梨県14.35% 女 秋田県8.27% (2020)	
			胃(内視鏡)	男 5.42% 女 3.71% (2020)	男 8.95% 女 6.42% (2020)	男 奈良県19.27% 女 奈良県15.84% (2020)	
			大腸	男 8.44% 女 6.04% (2020)	男 9.39% 女 6.63% (2020)	男 長崎県12.35% 女 長崎県8.89% (2020)	
			肺	男 2.15% 女 1.61% (2020)	男 2.42% 女 1.86% (2020)	男 福井県4.43% 女 福井県3.28% (2020)	
			女性乳房	7.64% (2020)	5.86% (2020)	山口県9.96% (2020)	
			子宮頸部	2.17% (2020)	2.20% (2020)	宮城県1.35% (2020)	
		要精検率	胃(エックス線)	男 56.77% 女 66.52% (2020)	男 79.45% 女 84.72% (2020)	男 宮城県 91.70% 女 宮城県 96.01% (2020)	国立がん研究センター がん情報サービス「がん登録・統計」地域保健・健康増進事業報告 (厚生労働省人口動態・保健社会統計課)
			胃(内視鏡)	男 58.45% 女 65.81% (2020)	男 92.93% 女 93.40% (2020)	男 滋賀県他100% 女 宮崎県他100% (2020)	
			大腸	男 54.47% 女 58.29% (2020)	男 67.06% 女 70.13% (2020)	男 滋賀県85.50% 女 滋賀県89.57% (2020)	
			肺	男 60.78% 女 70.75% (2020)	男 80.50% 女 84.61% (2020)	男 滋賀県94.21% 女 滋賀県96.93% (2020)	
			女性乳房	78.00% (2020)	90.13% (2020)	宮城県97.54% (2020)	
			子宮頸部	71.29% (2020)	76.59% (2020)	宮城県96.02% (2020)	
		精検未受診率	胃(エックス線)	男 11.32% 女 12.42% (2020)	男 8.99% 女 5.94% (2020)	男 福井県0.93% 女 島根県0.80% (2020)	
			胃(内視鏡)	男 13.93% 女 9.25% (2020)	男 1.53% 女 1.20% (2020)	男 青森県他0.00% 女 宮城県他0.00% (2020)	
			大腸	男 18.11% 女 15.35% (2020)	男 14.92% 女 13.75% (2020)	男 福井県0.79% 女 福井県1.21% (2020)	
			肺	男 12.03% 女 7.63% (2020)	男 7.00% 女 5.23% (2020)	男 高知県0.00% 女 高知県0.00% (2020)	
			女性乳房	5.29% (2020)	2.77% (2020)	福井県0.31% (2020)	
			子宮頸部	6.93% (2020)	5.82% (2020)	福井県0.00% (2020)	
		精検未把握率	胃(エックス線)	男 31.91% 女 21.06% (2020)	男 11.56% 女 9.34% (2020)	男 新潟県0.24% 女 新潟県0.41% (2020)	
			胃(内視鏡)	男 27.63% 女 24.94% (2020)	男 5.54% 女 5.41% (2020)	男 宮城県他0.00% 女 山形県他0.00% (2020)	
			大腸	男 27.42% 女 26.36% (2020)	男 18.02% 女 16.12% (2020)	男 新潟県0.58% 女 新潟県0.45% (2020)	
			肺	男 27.19% 女 21.62% (2020)	男 12.50% 女 10.16% (2020)	男 滋賀県0.40% 女 滋賀県他0.00% (2020)	
			女性乳房	16.70% (2020)	7.10% (2020)	新潟県0.15% (2020)	
			子宮頸部	21.78% (2020)	17.59% (2020)	宮城県0.39% (2020)	
	がん発見率	胃(エックス線)	男 0.08% 女 0.02% (2020)	男 0.20% 女 0.06% (2020)	男 福井県0.34% 女 長崎県0.14% (2020)		
		胃(内視鏡)	男 0.17% 女 0.04% (2020)	男 0.61% 女 0.21% (2020)	男 宮城県1.55% 女 宮城県0.42% (2020)		
		大腸	男 0.20% 女 0.10% (2020)	男 0.32% 女 0.18% (2020)	男 山口県0.51% 女 富山県0.27% (2020)		
		肺	男 0.05% 女 0.01% (2020)	男 0.08% 女 0.04% (2020)	男 鳥取県0.16% 女 群馬県他0.07% (2020)		
		女性乳房	0.35% (2020)	0.34% (2020)	山口県0.57% (2020)		
		子宮頸部	0.04% (2019)	0.03% (2019)	長崎県0.06% (2019)		
	陽性反応適中度	胃(エックス線)	男 1.11% 女 0.44% (2020)	男 2.48% 女 1.16% (2020)	男 福井県5.14% 女 福島県2.44% (2020)		
		胃(内視鏡)	男 3.20% 女 1.03% (2020)	男 6.82% 女 3.24% (2020)	男 宮城県19.78% 女 宮城県9.83% (2020)		
		大腸	男 2.32% 女 1.62% (2020)	男 3.39% 女 2.73% (2020)	男 新潟県5.63% 女 富山県4.47% (2020)		
		肺	男 2.50% 女 0.64% (2020)	男 3.40% 女 1.97% (2020)	男 高知県13.79% 女 群馬県6.86% (2020)		
		女性乳房	4.59% (2020)	5.84% (2020)	岩手県15.69% (2020)		
		子宮頸部	1.24% (2019)	1.18% (2019)	愛媛県2.96% (2019)		
		胃(エックス線)					
		胃(内視鏡)					

番号	A 分野アウトカム				
----	-----------	--	--	--	--

1-1	指標	有効ながん検診を有するがんの進行がんの減少ができている	指標項目	沖縄県	全国値	最良値	出典
			胃	男6.3 女2.5 (2022)	男9.0 女3.7 (2022)	男 熊本県5.8 女 大分県2.4 (2022)	
			大腸	男14.4 女8.2 (2022)	男12.4 女7.2 (2022)	男 滋賀県9.2 女 岡山県5.0 (2022)	
			肺	男18.8 女4.2 (2022)	男18.4 女5.8 (2022)	男 山梨県13.1 女 島根県3.1 (2022)	
			女性乳房	女10.3 (2022)	女10.4 (2022)	女 島根県5.4 (2022)	
			子宮頸部	女7.1 (2022)	女5.1 (2022)	女 徳島県3.0 (2022)	

1-2	指標	有効ながん検診を有するがんの進行がんの減少ができている	指標項目	沖縄県	全国値	最良値	出典
			胃				
			大腸				
			肺				
			女性乳房				
			子宮頸部				

参考データ							
1-3			指標項目	沖縄県	全国値	最良値	出典
	指標	検診がん種別 早期がん割合	胃※	53.8 (2020)	57.4 (2020)	宮城県68.0 (2020)	全国がん登録 罹患数・率(上皮内+臓器) ※上皮内がん を除く
			大腸	56.4 (2020)	57.9 (2020)	広島県63.1 (2020)	
			肺	29.08 (2020)	36.4 (2020)	島根県45.1 (2020)	
			女性乳癌	70.0 (2020)	64.3 (2020)	香川県72.8 (2020)	
			子宮頸部	80.7 (2020)	79.9 (2020)	熊本県87.4 (2020)	

	指標	精検未受診率の目標値5%以下を達成している市町村の割合	大腸	41.5% 17/41市町村 (2020)			厚生労働省「令和2年度 地域保健・健康増進事業報告」(R4.3公表)からR4沖縄県衛生環境研究所・健康長寿課集計
			肺	31.3% 9/29市町村 (2020)			
			女性乳房	71.1% 27/38市町村 (2020)			
			子宮頸部	46.2% 18/39市町村 (2020)			
	指標	感度と特異度の把握をしている市町村及び検診実施機関の割合	市町村	9.8% (2023)			令和6年度市町村向け進捗評価のためのアンケート調査結果
			検診実施機関				

2-6	職域を含めた、がん検診の実施者による分かりやすい情報提供を推進する			指標項目	沖縄県	全国値	最良値	出典
	指標	がん検診の正しい情報提供を実施した市町村の割合	胃(エックス線)	胃(エックス線)	78.9% (2022) 83.8% (2021)	81.1% (2022) 78.6% (2021)	青森県他100.0% (2022) 青森県他100.0% (2021)	国立がん研究センター「市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査」 受診勧奨時に「3-1検診機関用チェックリスト」受診者への説明」が全項目記載された資料を全員に個別配布している市町村の割合 ※集団検診
				胃(内視鏡)	100% (2022) 66.7% (2021)	75.7% (2022) 67.1% (2021)	秋田県他100.0% (2022) 宮城県他100.0% (2021)	
			大腸	大腸	77.5 (2022) 82.5% (2021)	80.1% (2022) 77.4% (2021)	青森県他100.0% (2022) 青森県他100.0% (2021)	
				肺	77.5 (2022) 82.5% (2021)	78.3% (2022) 76.0% (2021)	青森県他100.0% (2022) 青森県他100.0% (2021)	
			女性乳房	女性乳房	76.5 (2022) 87.1% (2021)	80.8% (2022) 78.5% (2021)	宮城県他100.0% (2022) 山形県他100.0% (2021)	
				子宮頸部	74.3% (2022) 82.4% (2021)	81.4% (2022) 78.8% (2021)	秋田県他100.0% (2022) 山形県他100.0% (2021)	

③受診率対策について

3-1	受診率向上に向けて、がん検診受診率をより正確かつ精緻に、また、個人単位で把握することができるように検討する			指標項目	沖縄県	全国値	最良値	出典
	指標	検討を行っている市町村の割合			34.1% (2023)			令和6年度市町村向け進捗評価のためのアンケート調査結果

3-2	市町村及び県が連携して、より科学的かつ効率的な受診勧奨策(コール・リコールなど)を推進し検診受診率を増加する			指標項目	沖縄県	全国値	最良値	出典
	指標	受診勧奨実施市町村の割合	胃	胃	67.5% (2022)	84.1% (2022)	群馬県他100.0% (2022)	国立がんセンター「市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査」①がん検診実施状況
			大腸	大腸	65.9% (2022)	85.5% (2022)	富山県他100.0% (2022)	
			肺	肺	60.9% (2022)	82.3% (2022)	群馬県他100.0% (2022)	
			女性乳房	女性乳房	63.4% (2022)	85.0% (2022)	群馬県他100.0% (2022)	
			子宮頸部	子宮頸部	65.8% (2022)	85.2% (2022)	富山県他100.0% (2022)	
	指標	検診受診率の目標値60%以上を達成している市町村の割合	胃	胃	0.0% 0/41市町村 (2022)	0.06% 1/1737市町村 (2022)	熊本県 2.2% 1/45市町村 (2022)	地域保健・健康増進事業報告(健康増進編)市区町村表 がん検診
			大腸	大腸	0.0% 0/41市町村 (2022)	0.0% (2022)	該当なし	
			肺	肺	0.0% 0/41市町村 (2022)	0.0% (2022)	該当なし	
			女性乳房	女性乳房	2.4% 1/41市町村 (2022)	0.23% 4/1737市町村 (2022)	宮城県 7.7% 2/26市町村 (2022)	
			子宮頸部	子宮頸部	2.4% 1/41市町村 (2022)	0.17% 3/1737市町村 (2022)	沖縄県 2.4% 1/41市町村 (2022)	

3-3	市町村及び県は、受診者の立場に立ったがん検診を受診する上での利便性の向上を行う			指標項目	沖縄県	全国値	最良値	出典
	指標	利便性の向上を行っている市町村の割合	胃	胃	84.2% (2022) 81.6% (2021)	86.1% (2022) 85.3% (2021)	岩手県他100.0% (2022) 岩手県他100.0% (2021)	厚生労働省「市区町村におけるがん検診の実施状況調査」 休日(土日・祝日)、早朝又は深夜に集団検診を実施している市町村の割合 ※集団検診
			大腸	大腸	80.5% (2022) 80.0% (2021)	85.4% (2022) 84.6% (2021)	岩手県他100.0% (2022) 岩手県他100.0% (2021)	
			肺	肺	85.0% (2022) 82.9% (2021)	83.3% (2022) 82.7% (2021)	宮城県他100.0% (2022) 宮城県他100.0% (2021)	
			女性乳房	女性乳房	47.2% (2022) 39.4% (2021)	75.3% (2022) 75.2% (2021)	栃木県他100.0% (2022) 栃木県他100.0% (2021)	
			子宮頸部	子宮頸部	42.9% (2022) 36.4% (2021)	70.9% (2022) 69.1% (2021)	宮城県他100.0% (2022) 茨城県他100.0% (2021)	

3-4	市町村は、啓発のための研修会等を行う			指標項目	沖縄県	全国値	最良値	出典
	指標	普及啓発キャンペーン実施市町村数			22/41市町村 (2023)			令和6年度市町村向け進捗評価のためのアンケート調査結果

3-5	県は、職域等におけるがん検診や人間ドックについて、実施状況の継続的な把握に務める			指標項目	沖縄県	全国値	最良値	出典
	指標	指針に基づく検診の実施率	胃	胃				
			大腸	大腸				
			肺	肺				
			女性乳房	女性乳房				
			子宮頸部	子宮頸部				

指標	感度	大腸				データなし
		肺				
		女性乳房				
		子宮頸部				
指標	特異度	胃(エックス線)				データなし
		胃(内視鏡)				
		大腸				
		肺				
指標	CIN3以上発見率(子宮頸がんのみ)	女性乳房	0.15% (2020)	0.14% (2020)	長崎県0.29% (2020)	国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」地域保健・健康増進事業報告(厚生労働省人口動態・保健社会統計課)
		子宮頸部	11.4% (2022) 12.3% (2021)	17.6% (2022) 15.5% (2021)	栃木県54.7% (2022) 鹿児島46.5% (2021)	
指標	非初回受診者の2年連続受診者割合(乳がん、子宮頸がんのみ)	女性乳房	13.1% (2022) 12.7% (2021)	26.4% (2022) 24.54% (2021)	鳥取県61.4% (2022) 鳥取県58.7% (2021)	厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」(令和元年度～次検診受診者の令和2年度までの精密検査受診状況) ※受診者数のうち2年連続受診者数
		子宮頸部				

3-1	科学的根拠に基づく受診勧奨を行い、検診受診率の増加ができている			指標項目	沖縄県	全国値	最良値	出典
	指標	検診受診率(国民生活基礎調査)	胃 (50～69歳/過去2年間)	胃 (50～69歳/過去2年間)	男49.5% 女45.7% (2022)	男53.7% 女43.5% (2022)	男 山形県73.6% 女 山形県67.3%	厚生労働省「国民生活基礎調査」
			大腸 (40～69歳/過去1年間)	大腸 (40～69歳/過去1年間)	男40.0% 女37.0% (2022)	男49.1% 女42.8% (2022)	男 山形県65.1% 女 山形県63.1%	
			肺 (40～69歳/過去1年間)	肺 (40～69歳/過去1年間)	男44.9% 女44.3% (2022)	男53.2% 女46.4% (2022)	男 山形県69.8% 女 山形県67.6%	
			女性乳房 (40～69歳/過去2年間)	女性乳房 (40～69歳/過去2年間)	女48.8% (2022)	女47.4% (2022)	女 山形県61.7%	
3-1	指標	検診受診率(国民生活基礎調査)	子宮頸部 (20～69歳/過去2年間)	子宮頸部 (20～69歳/過去2年間)	女45.3% (2022)	女43.6% (2022)	女 山形県57.5%	

2025 年 1 月 15 日

〇〇市長
〇〇〇〇殿

沖縄県がん診療連携協議会議長
(琉球大学病院長)
大屋 祐輔

がん検診担当者の研修修了率向上について

現在、国立がん研究センターでは、全国がん検診従事者研修（基礎）、全国がん検診従事者研修（実務）および全国がん検診指導者研修を毎年開催しています。

この研修会は、がん検診を担当する職員向けに企画されているものです。これらの研修会を受けることにより、基礎知識が身に着くだけでなく、がん検診に一番重要な精度管理の実践をすることができるようになります。

しかしながら、当院で行った調査によれば、2023 年度にこれらの研修会を受けた職員の割合は、

全国がん検診従事者研修（基礎）	17.5%
全国がん検診従事者研修（実務）	6.3%
全国がん検診指導者研修	0%

と極めて低い状況です。

そこで、来年度は、ぜひ貴市においては、がん検診をご担当される職員の方全員に、本研修を受講していただけるように、お願い申し上げる次第です。

ぜひともよろしくお願い申し上げます。

<参考資料：2024 年度開催分>

1 全国がん検診従事者研修（基礎）

主催：国立研究開発法人国立がん研究センター

研修のねらい：住民検診に携わるがん検診従事者において、がん検診の精度管理業務を行う上で必須となる基礎知識の習得を目指します。

受講対象：住民検診に携わるがん検診従事者（都道府県及び市区町村の行政担当者、保健所職員、検診機関の職員等）

プログラム：約 96 分 e-learning

申込期間：2024 年 4 月 15 日（月）～ 9 月 30 日（月）

受講期間：2024 年 4 月 15 日（月）～ 10 月 18 日（金）

2 全国がん検診従事者研修（実務）

主催：国立研究開発法人国立がん研究センター

研修のねらい：がん検診の基礎知識を踏まえ、精度管理を実践するうえで必要な知識や技術の習得を目指します。

受講対象：住民検診の運営・実務に関わる方すべて（都道府県/市区町村/検診機関の職員、都道府県が設置する生活習慣病検診等管理指導協議会の関係者、医師会関係者など）

プログラム：約 342 分 e-learning

申込期間：2024 年 6 月 24 日（月）～12 月 13 日（金）

受講期間：2024 年 6 月 24 日（月）～12 月 23 日（月）

3 全国がん検診指導者研修

主催：国立研究開発法人国立がん研究センター

研修のねらい：がん検診における地域の課題解決を適切に指導するための知識や、がん部会の適切な運営方法等（主に医師向けの内容）、指導者に必要な知識とスキルの習得を目指します

受講対象：都道府県が設置する生活習慣病検診等管理指導協議会（胃がん部会、大腸がん部会、肺がん部会、乳がん部会、子宮がん部会）の関係者（部会長、副部会長等）、及び医師会関係者。都道府県及び市区町村の行政担当者、保健所職員、検診機関職員も受講は可能です。

プログラム：約 69 分 e-learning

申込期間：2024 年 9 月 24 日（火）～2025 年 1 月 17 日（金）

受講期間：2024 年 9 月 24 日（火）～2025 年 1 月 31 日（金）

2025年1月15日

沖縄県保健医療介護部長
糸数 公殿

沖縄県がん診療連携協議会議長
(琉球大学病院長)
大屋 祐輔

市町村のがん検診担当者の研修修了率向上について

現在、国立がん研究センターでは、全国がん検診従事者研修（基礎）、全国がん検診従事者研修（実務）および全国がん検診指導者研修を毎年開催しています。

この研修会は、がん検診を担当する職員向けに企画されているものです。これらの研修会を受けることにより、基礎知識が身に着くだけでなく、がん検診に一番重要な精度管理の実践をすることができるようになります。

しかしながら、当院で行った調査によれば、2023年度にこれらの研修会を受けた職員の割合は、

全国がん検診従事者研修（基礎） 17.5%

全国がん検診従事者研修（実務） 6.3%

全国がん検診指導者研修 0%

と極めて低い状況です。

そこで、来年度は、がん検診担当者の研修修了率向上のために、貴部からも、各市町村長に働きかけを行っていただくことを、切にお願い申し上げます。

<参考資料：2024 年度開催分>

1 全国がん検診従事者研修（基礎）

主催：国立研究開発法人国立がん研究センター

研修のねらい：住民検診に携わるがん検診従事者において、がん検診の精度管理業務を行う上で必須となる基礎知識の習得を目指します。

受講対象：住民検診に携わるがん検診従事者（都道府県及び市区町村の行政担当者、保健所職員、検診機関の職員等）

プログラム：約 96 分 e-learning

申込期間：2024 年 4 月 15 日（月）～ 9 月 30 日（月）

受講期間：2024 年 4 月 15 日（月）～ 10 月 18 日（金）

2 全国がん検診従事者研修（実務）

主催：国立研究開発法人国立がん研究センター

研修のねらい：がん検診の基礎知識を踏まえ、精度管理を実践するうえで必要な知識や技術の習得を目指します。

受講対象：住民検診の運営・実務に関わる方すべて（都道府県/市区町村/検診機関の職員、都道府県が設置する生活習慣病検診等管理指導協議会の関係者、医師会関係者など）

プログラム：約 342 分 e-learning

申込期間：2024 年 6 月 24 日（月）～12 月 13 日（金）

受講期間：2024 年 6 月 24 日（月）～12 月 23 日（月）

3 全国がん検診指導者研修

主催：国立研究開発法人国立がん研究センター

研修のねらい：がん検診における地域の課題解決を適切に指導するための知識や、がん部会の適切な運営方法等（主に医師向けの内容）、指導者に必要な知識とスキルの習得を目指します

受講対象：都道府県が設置する生活習慣病検診等管理指導協議会（胃がん部会、大腸がん部会、肺がん部会、乳がん部会、子宮がん部会）の関係者（部会長、副部会長等）、及び医師会関係者。都道府県及び市区町村の行政担当者、保健所職員、検診機関職員も受講は可能です。

プログラム：約 69 分 e-learning

申込期間：2024 年 9 月 24 日（火）～2025 年 1 月 17 日（金）

受講期間：2024 年 9 月 24 日（火）～2025 年 1 月 31 日（金）